

使用上の注意改訂のお知らせ

2026 年 3 月

製造販売元



日新製薬株式会社

山形県天童市清池東二丁目 3 番 1 号

睡眠導入剤

トリアゾラム錠 0.125mg「日新」 トリアゾラム錠 0.25mg「日新」

向精神薬（第三種向精神薬）

習慣性医薬品（注意－習慣性あり）

処方箋医薬品（注意－医師等の処方箋により使用すること）

この度、標記製品の「使用上の注意」を下記のとおり改訂致しますのでご案内申し上げます。
今後のご使用に際しましては下記の内容をご参照くださいますようお願い申し上げます。

改訂内容（ ____部：医薬安通知 取消線部：自主改訂）

改 訂 後	改 訂 前																					
<p>2. 禁忌（次の患者には投与しないこと）</p> <p>2.1～2.3 現行のとおり</p> <p>2.4 次の薬剤を投与中の患者：イトラコナゾール、ボサコナゾール、フルコナゾール、ホスフルコナゾール、ボリコナゾール、ミコナゾール、HIV プロテアーゼ阻害剤（アタザナビル硫酸塩、ダルナビル エタノール付加物、ホスアンプレナビルカルシウム水和物、リトナビル、ロピナビル・リトナビル）、ニルマトレルビル・リトナビル、エンシトレルビル フマル酸、コビススタット含有製剤、エファビレンツ、<u>セリチニブ</u> [10.1 参照]</p> <p>2.5 現行のとおり</p>	<p>2. 禁忌（次の患者には投与しないこと）</p> <p>2.1～2.3 省略</p> <p>2.4 次の薬剤を投与中の患者：イトラコナゾール、ボサコナゾール、フルコナゾール、ホスフルコナゾール、ボリコナゾール、ミコナゾール、HIV プロテアーゼ阻害剤（アタザナビル硫酸塩、ダルナビル エタノール付加物、ホスアンプレナビルカルシウム水和物、リトナビル、ロピナビル・リトナビル）、ニルマトレルビル・リトナビル、エンシトレルビル フマル酸、コビススタット含有製剤、エファビレンツ [10.1 参照]</p> <p>2.5 省略</p>																					
<p>10. 相互作用</p> <p>現行のとおり</p> <p>10.1 併用禁忌（併用しないこと）</p> <table><tr><th>薬剤名等</th><th>臨床症状・措置方法</th><th>機序・危険因子</th></tr><tr><td>（略）</td><td>本剤の血中濃度が上昇し、作用の増強及び作用時間の延長が起こるおそれがある。</td><td>本剤とこれらの薬剤の代謝酵素が同じ（CYP3A4）であるため、本剤の代謝が阻害される。</td></tr><tr><td>エファビレンツ（ストックリン） [2.4 参照]</td><td></td><td></td></tr><tr><td><u>セリチニブ</u> （ジカディア） [2.4 参照]</td><td></td><td></td></tr></table>	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	（略）	本剤の血中濃度が上昇し、作用の増強及び作用時間の延長が起こるおそれがある。	本剤とこれらの薬剤の代謝酵素が同じ（CYP3A4）であるため、本剤の代謝が阻害される。	エファビレンツ（ストックリン） [2.4 参照]			<u>セリチニブ</u> （ジカディア） [2.4 参照]			<p>10. 相互作用</p> <p>省略</p> <p>10.1 併用禁忌（併用しないこと）</p> <table><tr><th>薬剤名等</th><th>臨床症状・措置方法</th><th>機序・危険因子</th></tr><tr><td>（略）</td><td>本剤の血中濃度が上昇し、作用の増強及び作用時間の延長が起こるおそれがある。</td><td>本剤とこれらの薬剤の代謝酵素が同じ（CYP3A4）であるため、本剤の代謝が阻害される。</td></tr><tr><td>エファビレンツ（ストックリン） [2.4 参照]</td><td></td><td></td></tr></table>	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	（略）	本剤の血中濃度が上昇し、作用の増強及び作用時間の延長が起こるおそれがある。	本剤とこれらの薬剤の代謝酵素が同じ（CYP3A4）であるため、本剤の代謝が阻害される。	エファビレンツ（ストックリン） [2.4 参照]		
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子																				
（略）	本剤の血中濃度が上昇し、作用の増強及び作用時間の延長が起こるおそれがある。	本剤とこれらの薬剤の代謝酵素が同じ（CYP3A4）であるため、本剤の代謝が阻害される。																				
エファビレンツ（ストックリン） [2.4 参照]																						
<u>セリチニブ</u> （ジカディア） [2.4 参照]																						
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子																				
（略）	本剤の血中濃度が上昇し、作用の増強及び作用時間の延長が起こるおそれがある。	本剤とこれらの薬剤の代謝酵素が同じ（CYP3A4）であるため、本剤の代謝が阻害される。																				
エファビレンツ（ストックリン） [2.4 参照]																						

改 訂 後			改 訂 前		
10.2 併用注意（併用に注意すること）			10.2 併用注意（併用に注意すること）		
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
モノアミン酸化酵素阻害剤	現行のとおり	現行のとおり	モノアミン酸化酵素阻害剤	省略	省略
			セリチニブ	治療上の有益性が危険性を上回る場合を除き、セリチニブとの併用は避け、代替の治療薬への変更を考慮すること。	セリチニブが代謝酵素（CYP3A4）を阻害することにより、本剤の代謝が阻害される。

改訂理由

- ◆厚生労働省医薬局医薬安全対策課長通知（2026 年 3 月 17 日付）に基づく改訂
- ◆自主改訂

今回の改訂内容は、日本製薬団体連合会発行 医薬品安全対策情報(DSU No.344 2026 年 4 月)に掲載される予定です。
 最新の電子添文は、PMDA HP「医薬品に関する情報」(<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html>) および
 弊社 HP (<https://www.yg-nissin.co.jp/>) に掲載致します。
 また、電子添文閲覧アプリ「添文ナビ」を用いて以下の GS1 バーコードを読み取ることで電子添文をご覧いただくことが可能です。

トリアゾラム錠「日新」



(01)14987447173111